

BMO法（適社度）

項目		採点基準	点数
資金力	必要資金規模と対応可否	多大な資金が必要で、自社で対応可能：10点 必要資金が数億円規模：5点 自社で必要資金がまかなえない場合、減点する	/10
マーケティング力	現有マーケティング力との適合性	早期に市場獲得が可能：10点 新たなチャンネル形成、人材育成が必要な場合、減点する	/10
製造力	現有施設、人材、ノウハウとの適合性	現有施設、人材、ノウハウが使える場合は高評価となる 低：0～3点 中：4～6点 高：7～10点	/10
技術力	サービス企画力との適合性	顧客に対し新しいサービスを企画できれば高評価となる 低：0～3点 中：4～6点 高：7～10点	/10
入原 手材 力料	原材料・部品・商品・情報の入手力	安全、安価に良質の仕入ができていれば高評価となる 低：0～3点 中：4～6点 高：7～10点	/10
マ ネ ジ メ ン ト 支 援	経営トップの関与度	会社の長期ビジョンに合致しており、人材・資金面での支援が得られる場合、高評価となる 低：0～3点 中：4～6点 高：7～10点	/5
	強力な事業推進者の存在	強力な専業事業推進者が存在する場合：5点 強力でも兼業であれば、減点。 4点以下の場合、事業実施が困難	/5
魅力度合計			/60

大江建・著『なぜ新規事業は成功しないのか』p136を参考に作成